

群馬県庁スタジオ公開収録番組「直滑降ストリーム」出演報告

Report on Gunma Prefectural Office Studio Public Recorded Program "Chokkakou Stream"

加茂 文吉 KAMO Fumiyoshi

日本工学院八王子専門学校ミュージックカレッジ / デジタルハリウッド大学メディアサイエンス研究所 研究員
Nihon Kogakuin Music College / Media Science Laboratory, Digital Hollywood University, Researcher

2023年3月に博士論文「ギター演奏の運動評価による技量獲得暗黙知の解明と教育への応用 (A Kinesiological Approach to Implicit Knowledge of Guitar Playing Skills for Education)」を发表し、工学の博士号を取得した。このことに基づき、群馬県知事山本一太氏がキャスター兼プロデューサーを務めるWeb番組「直滑降ストリーム」に出演依頼をいただいた。大変光栄な機会なので、これまでの音楽活動や研究内容を整理して番組で紹介していただくことで、これからの未来を創る人へのメッセージとした。本稿では、群馬県庁でのスタジオ公開収録にて伝えたポイントを整理して報告する。

1. はじめに

1.1 博士号取得の動機

これまで実務家のプロミュージシャンとして様々な場面で演奏を行い、専門学校などの高等教育機関ではポピュラー音楽を20年以上に渡り指導してきた。2011年には、世界最大のオンライン・ギター・レッスンのギネス世界記録を樹立し^[1]、対面・オンライン含めて多くのミュージシャンと関わってきた。そんな中、課題として感じているのは、音楽演奏にはプロは経験的にできるが説明困難である「暗黙知」が多いということであった。多くのミュージシャンは音から弾き方を推定する「耳コピ」を推奨するが、音や映像からでは演奏の原因がわからない演奏法があった場合、これは暗黙知となる。また、演奏をマスターするためには沢山の練習が必要であるが、一体自分はいつ弾けるようになったのか?という疑問は残る。これまでCD、DVD、本、Webなど多くのメディアでエレクトリックギターの演奏を表現してきたが、その次を見つけないと考える大学院に進学した^[2]。デジタルハリウッド大学大学院デジタルコンテンツ研究科デジタルコンテンツ専攻でのデジタルコンテンツマネジメント (DCM) 修士号取得を経て、東京工科大学大学院バイオ・情報メディア研究科コンピュータサイエンス専攻博士後期課程に社会人大学院生として進んだ。博士課程の学びは自分との闘いという部分もあり、人生最大の苦境であったが、2023年3月に博士論文「ギター演奏の運動評価による技量獲得暗黙知の解明と教育への応用 (A Kinesiological Approach to Implicit Knowledge of Guitar Playing Skills for Education)」を发表^[3]し、大学院を早期修了し工学の博士号を取得した。

1.2 博士論文のメディアでの紹介

2023年3月17日の学位記授与式以降、様々なメディアでインタビューの機会をいただいた。毎日新聞、上毛新聞、日本経済新聞、ギターマガジンを含めて多くのメディアで掲載いただき大変感謝している。デジタルハリウッド校友会には大学院入学から博士論文発表までをインタビューしていただいたので自分の思考を棚卸しすることができた^[2]。2023年5月17日には、山本一太群馬県知事と対談できる機会をいただいた。この対談は、群馬県庁32階のスタジオ「tsulunos」にて行われ、公開収録され、後日ウェブメディア「直滑降ストリーム」に掲載されるということであった。県庁スタジオに実際に収録を親に行くことも可能であるということなので、これは大変光栄な機会であると考えた。そこで、これまでの音楽活動や研究内容を整理して番組で紹介していただくことで、これからの未来を創る人へのメッセージとすることにした。

1.3 群馬県庁スタジオ「tsulunos」

図1は、群馬県庁32階「tsulunos」のスタジオ内である。高品位の番組収録ができる機材群が並んでいるが、驚くべきことは、群馬県では県職員自らスタジオを利用し、動画の「企画」「撮影」「編集」を行っており、ローコストかつタイムリーに、県内外の方への情報を発信しているということであった^[4]。著者が感じたことは、これまでスタジオに勤めるためにはスタジオでの専門的な技術を学び就職するというのが一般的ルートであったと考えられるが、デジタルテクノロジーの発展で機材が小型化し、また機材毎に操作方法が異なるのではなく均一化されるようになってきており、ある程度のクオリティまでは機材に不慣れな人でも操作をし、制作することが可能になってきているということである。逆に考えると、スタジオで働いている人達はスタジオの専門的な作業は出来るけれど他のことは出来ないという状況になると、群馬県職員のように広い視点で業務を行っている人の発想や着眼点には今後敵わなくなってしまうだろう。従って、著者も音楽業界人を育てる教員としてスペシャリストの育成だけに力を注ぐのではなく、専門力を持ちつつも多様な視点で発想・行動できる人材を育成することが重要であると、このスタジオ「tsulunos」を見て感じた。



図1：tsulunosスタジオ内

「tsulunos」は公開収録が可能になるように、スタジオの外にも図2のようにモニターが設置されているため、来場者がイベントを楽しむことができる仕様となっている。群馬県は著者が小学校から高校までを過ごした場所でもあり、友人が見学に駆けつけてくれたことは大変嬉しかった。

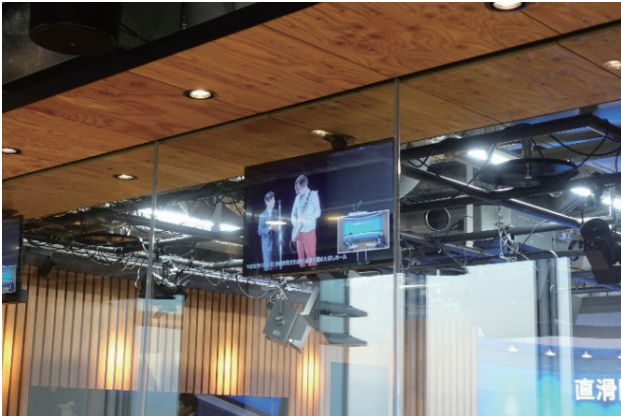


図2：tsulunostudio外モニター

2. 「直滑降ストリーム」出演

2.1 山本一太群馬県知事との音楽的交流

内閣府特命担当大臣を務め、現在は群馬県知事を務めている山本一太氏^[5]は、音楽を通じて政治メッセージを発信する活動を行っている^[6]。著者は高校の後輩であるという縁でミュージシャンとして、山本一太氏の音楽に参加させていただき、2003年に「かいかくの詩」を楽曲提供する^[7]など、気が付けばもう20年のお付き合いになる。長い付き合いということもあるので番組という場でお話しするのは少々照れ臭いところもあったが、光栄な機会なのでしっかりと準備をして公開収録に臨んだ。

2.2 始動人とは

山本一太知事より、番組の冒頭に著者を「始動人」と紹介していただいた^[8]。「始動人」とは、「自分の頭で考え、他人が目指さない領域で動き出し、生き抜く力を持つ人」のことであると述べられていた。新・群馬県総合計画のビジョンにも取り入れているとのことであった^[9]。著者は現役のロックギタリストで博士を目指すということだけを考えてここまでやってきて、そのような視点を考えたことがなかったので大変学びになった。

博士論文の執筆時は、特に2023年の正月が最後の追い込みとなり何日も徹夜が続き、まさに生き抜くという気持ちでなければ続けることが出来なかった。この経験があれば、確かにどのような分野でも生き抜くことは可能かもしれないと感じている。

2.3 番組の構成

「直滑降ストリーム」は約46分の内容となったが、主な番組構成は下記のような形となった。

- ・ 著者の音楽業界での活動紹介
- ・ 群馬県での活動について
- ・ STEAM教育の実践について
- ・ 大学院で研究したこと
- ・ 山本一太知事との共演における思い出

群馬県での活動としては、こんにゃくを歌でPRするという活動を行ったことを振り返った。音楽にはプレゼンテーションの力があると考えている。何かメッセージを伝える時に、音楽に乗せることにより伝わりやすくなるのだという実感を得ることができた体験だった。STEAM教育については、抽象的な概念を考えるのではなく具体的に進めることが重要であると教育者として考えており、博士論文の中でSTEAM教育の実践についてまとめたが^[3]、ギターを弾いてきたことを結果的にギター以外でも活かせるようにする、ということに主眼を置いた。このテーマは大学院での研究テーマでもあり、現在の自分の仕事の核になっているとも言える。

3. おわりに

山本一太知事との対談によって、自分が20年間必死にあがってきたことを振り返る機会をいただいた。自分の傍には常にギターがあり、ギターを弾くことによって次の新たな展開が生まれてきたのだということに改めて気が付いた。現在、次世代ミュージシャンを育成する仕事に従事しているが、メディアや機材の変遷をふまえた上で、教育実践に取り組んでいきたい。1.3で述べたように、広い視点を持ち専門分野を深掘りすることが今後を生き抜く力になり人材育成の核になると考えている。今後、さらに考察を深めていきたい。

謝辞

群馬県知事戦略部秘書課中村崇様、株式会社REDMusic宇佐美友章様、山本一太先生に深く感謝を申し上げます。

参考文献

- [1] the japan times: "Guitarist Kamo donates fee for record-busting 'shred' lesson to Red Cross" <https://www.japantimes.co.jp/news/2012/01/17/national/guitarist-kamo-donates-fee-for-record-busting-shred-lesson-to-red-cross/> (Accessed 2022-07-28).
- [2] デジタルハリウッド校友会: 「実務と学術の境界線に挑戦して暗黙知を明らかにし、新しいフィールドを作りたい」演奏工学という新領域を切り拓くギタリストの挑戦" <https://dhaa.jp/interview/kamofumiyoshi/> (Accessed 2023-07-28).
- [3] 加茂文吉: "ギター演奏の運動評価による技量獲得暗黙知の解明と教育への応用" https://www.teu.ac.jp/ap_page/koukai/2022_09_3kamo.pdf (Accessed 2023-07-28).
- [4] 群馬県: "群馬県動画・放送スタジオ「tsulunostudio(ツルノス)」" <https://www.pref.gunma.jp/page/15792.html> (Accessed 2023-07-28).
- [5] 山本一太: "プロフィール" <https://www.ichita.site/profile> (Accessed 2023-07-28).
- [6] 山本一太: "与野党次世代リーダー候補総出演、12年前の伝説の「かいかくの詩」音楽PV～Youtubeで公開中" <https://ameblo.jp/ichita-y/entry-12088693258.html> (Accessed 2023-07-28).
- [7] 山本一太: "かいかくの詩(2003年バージョン)" <https://www.youtube.com/watch?v=ftl7jmyp44> (Accessed 2023-07-28).
- [8] tsulunostudio ～群馬県公式～: "群馬県知事 山本一太の「直滑降ストリーム」 ゲスト:ギタリスト・博士(工学)加茂フミヨシ" <https://www.youtube.com/watch?v=LsS4b5af1DU> (Accessed 2023-07-28).
- [9] 新・群馬県総合計画: "新・群馬県総合計画のビジョン" <https://gunma-v.jp/vision/> (Accessed 2023-07-28).